

麻疹戲言

ムカシフウライインホウヒロン アラハ (ウツビリ井シヤ フラ ホウネイトウカフウブツツク ヅク ヤクヒヨウホンダ ベン フトハツ カサン
昔風來子放屁論ヲ著シテ、屁撒撥者ヲ晒ヒ、朋誠堂風俗通ヲ作りテ、疫病本田ヲ辯ズ。音發シ臭散
ジ芳名四方ニ響キ、寒往キ熱來タツテ變風數年ニ行ハル。嗟、天竺老人蚤ク雲外ニ去リ、龜山道士
次イデ泥中ニ遁ル。茲ニ於イテ譚史尻ヲ窄メテ屁ヲ矢ル者無シ。贅客口ヲ閉ヂテ熱ヲ吐ク者靡シ。
通風頽廢シ戲作湮滅ス。頃日剛ニ貴撰ノ滑稽ヲ觀テ、初メテ其ノ人ト爲リヲ悦ブ。夫レ□足下ハ戀川
ノ餘波、月池ノ影藻ナリ。欣欣タル高慢、滿滿タル洒落、虹橋竹枝ノ剪燈深話者、艶史版魁、梨園花林
ノ訓蒙圖彙者月旦ノ親玉也。巧ニ苦界ヲ穿チ能ク版元ヲ富マシム。金銀米錢願ハズシテ硯ニ涌キ、
鶴龜松竹唱フルニ隨ツテ梓ニ壽ス。何ゾ圖ラン价ヲ來タラシテ我ニ序ヲ請フ。因ツテ新編ヲ誦スレ
ハ、則神ヲ搜リ鬼ヲ論ジ、巫ヲ排シ豎ヲ折ス。謂ハ所神鬼ハ音新規ニ通ジテ變態ノ風俗ノ如ク、巫豎
ハ響キ無爲ニ近ウシテ滿腹ノ放屁ノ若シ。顔戲謔ヲ好ミ戲文ヲ愛ス。少ナウシテ鯉川ノ流ルニ浴シ壯
ウシテ牛門ノ闔ヲ越ス。潜グレバ則益深ウシテ底ヲ極メズ。【跨】ゲバ則彌高ウシテ堂ニ昇リ難
シ。未ダ一編ヲ著ハサズ。書林需ムルコト無シ。
ソクカハシカ ヤ シヤウチン アシカ ト タイキ タマエフクヤクハンジツ カン エ タチマ シヤウキヤウイツベン
足下麻疹ヲ病ムノ少年ニシテ海鹿ヲ解ケルノ大器アリ。偶服藥半日ノ閑ヲ得テ、忽チ生薑一片ノ
書ヲ著ハス。 シヨ アラ

四方歌垣眞顔書於狂歌堂

(四方歌垣眞顔 狂歌堂に書す)

□闕字 一字空白

「剪燈深話者、艶史版魁」 振り仮名なし

【跨】 跨の異体字か

注釈

風来子（一七二八～一七八〇） 平賀源内 『放屁論』（本編一七七四刊・後編一七七七刊） 『風

来六部集』（一七八〇刊）所収

朋誠堂喜三二（生没年不明） 平沢常富 戯作者・狂歌師 『当世風俗通』（一七七三 洒落本） 恋

川春町画

恋川春町（一七四四～一七八九） 倉橋格 戯作者・浮世絵師

月池 築地善交か。森島中良（一七五六～一八一〇）の狂名 医師・戯作者・蘭学者・狂歌師 平

賀源内門人 二代目風来山人 式亭三馬『戯場訓蒙図彙』（一八〇三刊 滑稽堂主人序 二代目風来山

人序 狂歌堂四方真顔跋）戯場訓蒙図彙引（式亭三馬記）に「○滑稽堂○月池○すきや河岸（四方真

顔）の三名家、いづれをいつれ老先生、イヨ魁首の両大人の序跋あれば、其中の間からしやはり出て、

狂文の邪魔ながらちくとんばかり書申さふと、如在の序の字はひんまげても、やんやと云ふ人独りも

なし」と見える。

(<https://www2.nijiac.go.jp/dglib/contents/learn/ebook01/zuhan/007.html>)

天竺老（浪：『戯場訓蒙図彙』 戯場訓蒙図彙引）人 平賀源内の別号

亀山道士 平沢常富か。青本では亀山人と号す。

四方真顔（一七五三～一八二九） 鹿津部真顔 狂歌師・戯作者 別号に狂歌堂 四方赤良門人 家

業は江戸数寄屋橋河岸の汁粉屋。